




2021 年度大学院看護栄養学研究科栄養管理学専攻 学位論文審査報告書

学籍番号	20182103	学生氏名	守屋 淑子
学位論文 題 目	腎移植患者における食事摂取量等の実態と栄養指導上の課題		
主 査	中川 幸恵 	副 査	武蔵 学  志賀 一希 
<p>【論文の概要】</p> <p>本研究は、本邦における腎移植後 3 年間のたんぱく質および食塩摂取量と栄養関連の指標について経時的に調査した初めての報告であり、新規性として、たんぱく質および食塩摂取量を正確性の高い 24 時間蓄尿法を用いて評価している点や腎移植後 3 年間におけるたんぱく質および食塩摂取量や栄養状態等の実態を経時的に明らかにできた点があげられる。本研究の結果は腎移植患者における導入期から維持期にかけての栄養管理を行うために有益な情報を提供すると考える。</p> <p>実証研究 1 の結果により、移植後 1 年以内における適正なたんぱく質や食塩の摂取基準の可能性を示すことができた。実証研究 2 の結果により、移植後 1 年までの食生活がその後の移植患者の食生活の基本となることが示唆され、移植後 1 年までの栄養指導の重要性が明らかになった。これらの結果により、腎移植患者の栄養指導の課題として、減塩指導の強化と経時的な体重管理の重要性を見いだすことができた研究である。</p> <p>【論文審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査の条件 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学位論文内容の一部が日本学術会議の登録学術研究団体の学会誌に受理され、掲載されている 2. 当該論文の他の共著者全員から学位論文とする旨の承諾を得、他の共著者が当該論文を学位論文として使用しない旨の承諾を得ている。 ・具体的審査基準 1～8 を満たしている。 <p>本研究は栄養学分野に大きく貢献するものであり、論文審査基準を十分に満たしていることから、主査および副査 2 名は全員一致で「合」と判定した。</p>			

▼どちらかに○

判定	<input checked="" type="radio"/> 合 <input type="radio"/> 否
----	--